

# Backup Exec 2014 Management Pack for Microsoft SCOM

Management Pack for Microsoft SCOM  
ユーザーガイド



# Management Pack for Microsoft Operations

この文書では以下の項目について説明しています。

- [Backup Exec Management Pack for System Center Operations Manager](#)
- サポート対象の [Backup Exec](#) バージョン
- サポート対象の [System Center Operations Manager](#) バージョン
- [Backup Exec Management Pack](#) のインストール
- 通知先グループ
- バックアップおよびジョブの監視ルール
- ストレージおよびメディアの監視ルール
- [Agent for Windows](#) の監視ルール
- サーバーおよびサービスの監視ルール

## Backup Exec Management Pack for System Center Operations Manager

Symantec Backup Exec for Windows Servers Management Pack を使用すると、System Center Operations Manager (SCOM) で Backup Exec アラート、パフォーマンスモニター属性、およびイベントを監視できます。管理パックは、シマンテック社の Web サイトからダウンロード可能です。

Backup Exec Management Pack は次のものを監視します。

- Backup Exec サービスの一時停止、停止および失敗の状態

- Backup Exec ジョブアラート
- ストレージおよびメディアアラート
- Backup Exec Agent for Windows アラート

Backup Exec Management Pack を使用すると、SCOM で Backup Exec アラート、パフォーマンスモニター属性、および Windows イベントログのイベントを監視できます。

管理パックでは、問題のトラブルシューティングに役立つ次の情報がイベントごとに提供されます。

- エラーの詳細な説明
- エラーの発生原因として最も考えられる状態
- 適切なタイミングでエラーからリカバリするための推奨の解決方法
- コンピュータ名、IP アドレス、インストールパス、ビルド番号などのコンピュータの詳細な説明

SCOM で Backup Exec を監視するには、ポート 1270 がファイアウォールを通して利用可能である必要があります。SCOM はデータを暗号化し、TCP を使用して転送します。1 つの管理パックで、Backup Exec のサーバーコンポーネントとクライアントコンポーネントの両方を監視できます。

p.3 の「[サポート対象の Backup Exec バージョン](#)」を参照してください。

p.3 の [Installing the Backup Exec Management Pack](#) を参照してください。

## サポート対象の Backup Exec バージョン

次の Backup Exec のバージョンを監視するのにこの Management Pack を使えます。

- Backup Exec 2010 以降

p.2 の「[Backup Exec Management Pack for System Center Operations Manager](#)」を参照してください。

## サポート対象の System Center Operations Manager バージョン

Backup Exec 2014 Management Pack は System Center Operations Manager の次のバージョンをサポートします。

- SCOM 2007 R2
- SCOM 2012 R2

p.4 の「[Backup Exec Management Pack のインストール](#)」を参照してください。

# Backup Exec Management Pack のインストール

インストールする前に、シマンテック社の Web サイトから管理パックをダウンロードする必要があります。

## Backup Exec Management Pack をインストールする方法

- 1 シマンテック社の Web サイトから管理パックをダウンロードします。
- 2 System Center Operations Manager のオペレーションコンソールを起動します。  
p.3 の [Installing the Backup Exec Management Pack](#) を参照してください。
- 3 [管理]タブをクリックします。
- 4 選択ペインで、[アクション]の下にある[管理パックのインポート]をクリックします。
- 5 [追加]をクリックします。
- 6 [ディスクから追加する]をクリックします。
- 7 パスを指定するか、Backup Exec Management Pack ファイルが存在する場所を参照して、[開く]をクリックします。
- 8 [インストール]をクリックします。
- 9 選択した内容を確認して、[閉じる]をクリックします。

Management Pack の System Center Operations Manager へのインポートに関する追加情報については、System Center Operations Manager のマニュアルを参照してください。

## 通知先グループ

この通知先グループへのオペレータの追加について詳しくは適切な SCOM のマニュアルを参照してください。

## バックアップおよびジョブの監視ルール

Backup Exec のバックアップとジョブの監視ルールは、次のフォルダにあります: Symantec Backup Exec。

次の表に、この管理パックに含まれているバックアップおよびジョブの監視ルールを示します。

表 1-1 バックアップおよびジョブの監視ルール

イベント ID	ルール	アラートの重大度
57753	バックアップジョブにデータが存在しない	情報
34338	カタログエラー	エラー
57751	SDR のコピーが失敗	エラー
57752	SDR の完全バックアップが成功	情報
34114	ジョブのキャンセル	警告
57755	ジョブ完了 (例外処理あり)	情報
34113	ジョブ失敗	エラー
57754	ジョブ失敗 (テスト実行ジョブ)	エラー
57756	ジョブの開始	情報
34112	ジョブ成功	情報
33919	ジョブ警告	警告

## バックアップおよびジョブのパフォーマンス監視ルール

次のルールがあります。

- 成功ジョブ
- 失敗ジョブ
- 中断ジョブ
- 使用中のためスキップされたオブジェクト
- エラーのためスキップされたオブジェクト
- 破損オブジェクト
- 失敗した検証オブジェクト
- ジョブ数

Backup Exec のパフォーマンスルールにしきい値演算の制限を設定するには、System Center Operations Manager のマニュアルを参照してください。特定のパフォーマンスルールにしきい値の制限を設定した後に、パフォーマンスカウンタが設定したしきい値を超えると、SCOM は Backup Exec Management Pack を使ってアラートを送信します。

p.3 の [Installing the Backup Exec Management Pack](#) を参照してください。

## ストレージおよびメディアの監視ルール

Backup Exec のストレージとメディアの監視ルールは、次のフォルダにあります: Symantec Backup Exec。

次の表に、この管理パックに含まれているストレージおよびメディアの監視ルールを示します。

表 1-2 ストレージおよびメディアの監視ルール

イベント ID	ルール	アラートの重大度
58053	ストレージのエラー	エラー
58055	ストレージの情報	情報
58054	ストレージの警告	警告
58064	ライブラリの挿入	情報
58057	メディアエラー	エラー
58059	メディア情報	情報
58061	メディアの挿入	警告
58060	メディアの手動操作	情報
58062	メディアの上書き	情報
58063	メディアの削除	情報
58058	メディア警告	エラー
65314	テープアラートエラー	致命的エラー
65312	テープアラートの情報	警告
65313	テープアラート警告	エラー

## ストレージおよびメディアのパフォーマンス監視ルール

次のルールがあります。

- バックアップデバイス待機時間
- バックアップマウント時間

Backup Exec のパフォーマンスルールにしきい値演算の制限を設定するには、System Center Operations Manager のマニュアルを参照してください。特定のパフォーマンスルールにしきい値の制限を設定した後に、パフォーマンスカウンタが設定したしきい値を超えると、SCOM は Backup Exec Management Pack を使ってアラートを送信します。

p.3 の [Installing the Backup Exec Management Pack](#) を参照してください。

## Agent for Windows の監視ルール

Backup Exec の Agent for Windows の監視ルールは、次のフォルダにあります：

Symantec Backup Exec。

次の表に、この管理パックに含まれている Agent for Windows の監視ルールを示します。

表 1-3 Agent for Windows の監視ルール

イベント ID	ルール	アラートの重大度
58115	無効なオペレーティングシステムバージョン	エラー
58116	ポートの競合	エラー
58117	ポートの監視に失敗	エラー
なし	Backup Exec Agent for Windows サービスが停止状態	エラー

## Agent for Windows のパフォーマンス監視ルール

次のルールがあります。

- 応答メッセージ数
- 応答メッセージ/秒
- アクティブメッセージ数
- アクティブ VSN 数
- 受信バイト数
- 受信バイト/秒
- 受信メッセージ数
- 受信メッセージ/秒

- 送信バイト数
- 送信バイト/秒
- 送信メッセージ数
- 送信メッセージ/秒

Backup Exec のパフォーマンスルールにしきい値演算の制限を設定するには、**System Center Operations Manager** のマニュアルを参照してください。特定のパフォーマンスルールにしきい値の制限を設定した後に、パフォーマンスカウンタが設定したしきい値を超えると、SCOM は Backup Exec Management Pack を使ってアラートを送信します。

p.3 の [Installing the Backup Exec Management Pack](#) を参照してください。

## サーバーおよびサービスの監視ルール

Backup Exec のサーバーとサービスの監視ルールは、次のフォルダにあります: Symantec Backup Exec。

次の表に、この管理パックに含まれているサーバーおよびサービスの監視ルールを示します。

表 1-4                   サーバーおよびサービスの監視ルール

イベント ID	ルール	アラートの重大度
57794	Backup Exec Naming Service の失敗	エラー
57348	データベースの保守に失敗	エラー
57347	データベース保守情報	情報
57802	初期化に失敗	エラー
57803	ビジネスオブジェクトの初期化に失敗	エラー
57798	無効なオペレーティングシステムバージョン	エラー
57804	スキーマの不一致	エラー
57796	サービスの起動	情報



イベント ID	ルール	アラートの重大度
57797	サービスの停止	情報
34576	ソフトウェア更新情報	情報
なし	Backup Exec Agent Browser サービスが停止状態	エラー
なし	Backup Exec Device & Media Service が停止状態	エラー
なし	Backup Exec Job Engine サービスが停止状態	エラー
なし	Backup Exec Naming Service が停止状態	エラー
なし	Backup Exec Server サービスが停止状態	エラー
なし	Backup Exec Management Service が停止状態	エラー

## サーバーとサービスのパフォーマンス監視ルール

次のルールがあります。

- 実行中のジョブ数
- サーバー稼働時間
- 応答メッセージ数
- 応答メッセージ/秒
- アクティブメッセージ数
- アクティブ VSN 数
- 受信バイト数
- 受信バイト/秒
- 受信メッセージ数

- 受信メッセージ/秒
- 送信バイト数
- 送信バイト/秒
- 送信メッセージ数
- 送信メッセージ/秒

Backup Exec のパフォーマンスルールにしきい値演算の制限を設定するには、**System Center Operations Manager** のマニュアルを参照してください。特定のパフォーマンスルールにしきい値の制限を設定した後に、パフォーマンスカウンタが設定したしきい値を超えると、SCOM は Backup Exec Management Pack を使ってアラートを送信します。

p.3 の [Installing the Backup Exec Management Pack](#) を参照してください。